

2019年 加温ぶどう病害虫防除暦



JA中野市営農センター
JA中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用 回数	散布量 (ℓ)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
月 日	発芽 直前	①展着剤 ベフラン液剤 25	20mℓ 400mℓ	休眠期	1回	250	晩腐病、褐斑病 黒とう病 (枝膨病)	① 褐斑病発生園は必ず散布する。
月 日	展葉 6～7枚	②展着剤 スプラサイド水和剤 ジマンダイセン水和剤	10mℓ 66g 100g	14 日前 45 日前	2回 2回	300	晩腐病、褐斑病、 べと病、黒とう病、 さび病 カイガラムシ類幼虫 (フタテンヒメヨコバイ)	①高温時の散布は十分注意する。
特別散布		展着剤 フェニックスフロアブル	10mℓ 25mℓ	14 日前	2回	300	スカシバ類 ハマキムシ類 ハスモンヨトウ ケムシ類	①ハスモンヨトウ発生園は散布する
月 日	展葉 10 枚頃	展着剤 ストマイ液剤 20	10mℓ 100mℓ	満開予定日の 14 日前～ 開花始期	1回	300	無種子化	① 有核巨峰園には絶対に散布しない。 ②花穂に当たるようたっぷり散布する。
月 日	展葉 11 枚頃	展着剤 フラスター液剤	10mℓ 125～ 200mℓ	新梢展開葉 7～11 枚時 (開花始期まで)	1回	150	着粒増加 新梢伸長抑制	①フラスター液剤の 2 倍体欧州系品種に対する登録は 1,000～2,000 倍、使用倍率に注意し散布する。 ②ハイテンパワーに代えてアプローチ BI 500 倍を使用し てもよい
月 日	開花 3日前	③展着剤 コテツフロアブル オンリーワンフロアブル ダニコングフロアブル	10mℓ 50mℓ 50mℓ 50mℓ	60 日前 前日 前日	2回 3回 1回	300	晩腐病、黒とう病 さび病、灰色かび病 うどんこ病、褐斑病 チャノキロアサミウマ ハスモンヨトウ ハダニ類 コガネムシ類	
月 日	落花 直後	④アミスター10フロアブル カネマイトフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤	100mℓ 100mℓ 10g	30 日前 14 日前 21 日前	3回 1回 2回	250	黒とう病、灰色かび病 べと病、晩腐病、枝膨病 褐斑病、さび病 アサミウマ類 ハダニ類 ブドウサビダニ	①灰色かび病の発生園は、ゲッター水和剤 1,500 倍 (45 日前、1回)を加用する。 ②コナカイガラムシ類の発生がある場合はコルト顆粒水 和剤 3,000 倍(前日、3 回)を加用する。
特別散布 (袋かけ後)		展着剤 スプラサイド水和剤	10mℓ 66g	14 日前	2回	300	カイガラムシ類	①カイガラムシが発生している場合は、袋かけをしてから 散布する。
特別散布 (袋かけ後)		展着剤 コロマイト水和剤	10mℓ 50g	7 日前	2回	300	ハダニ類	① ハダニ類が発生している場合は、袋かけをしてから散 布する。
月 日	収穫後	⑤コサイド 3000 KK ステッカー(展着剤)	50g 33mℓ	—	—	400	べと病、さび病	①コサイド 3000 に代えて、ジマンダイセン水和剤 1,000 倍 (45 日前、2 回)を使用してもよい。 ②調合液を良く攪拌させながらKKステッカーを最後に加 用する。
月 日	ビニール 除去後	⑥コサイド 3000 スミチオン水和剤 40 KK ステッカー(展着剤)	50g 100g 33mℓ	— 30 日前	— 2回	400	べと病、さび病 ブドウスカシバ ブドウトラカミキリ クワコナカイガラムシ	①調合液を良く攪拌させながらKKステッカーを最後に加 用する。
月 日	8 月下旬 ～ 9 月上旬	⑦コサイド 3000 KK ステッカー(展着剤)	50g 33mℓ	—	—	400	べと病、さび病	①コサイド 3000 に代えて IC ボルドー66D40 倍を使用し てもよい。 ②調合液を良く攪拌させながらKKステッカーを最後に加 用する。

安全・安心な農産物生産のために防除・使用基準を厳守しましょう

当防除暦の複製・コピーの禁止